

2022年5月31日

第4次グループ 中期経営計画

 日本パーカライジング株式会社
NIHON PARKERIZING CO.,LTD.

第3次グループ中期経営計画の振り返りと当社グループの強み

- 主要財務目標達成状況(数値目標)
- 第3次グループ中期経営計画の振り返り(重点施策)
- 市場認識と目指す事業の方向性
- 日本パーカライズング・グループの強み

第4次グループ中期経営計画

- 第4次グループ 中期経営計画の位置づけ
- 第4次グループ 中期経営計画の全体像
- 当社グループ 重要課題(マテリアリティ)の特定
- 6つの重要課題
- 6つの重要課題と中期経営計画における主な取り組み
- 第4次グループ 中期経営計画の基本方針
- Vision2030の実現に向けた成長戦略
薬品事業／加工事業／装置事業
- 既存分野の深耕と新規分野の開拓
- グローバル事業の拡大
- 研究開発の強化
- 品質管理と品質保証の強化
- 既存事業の収益力強化
- 企業変革への取り組み
- ESG・SDGsへの取り組み
- カーボンニュートラルへの取り組み
- 環境対応製品の開発・販売
- 設備投資計画
- 資本政策と株主還元の基本方針
- 連結数値目標

参考資料

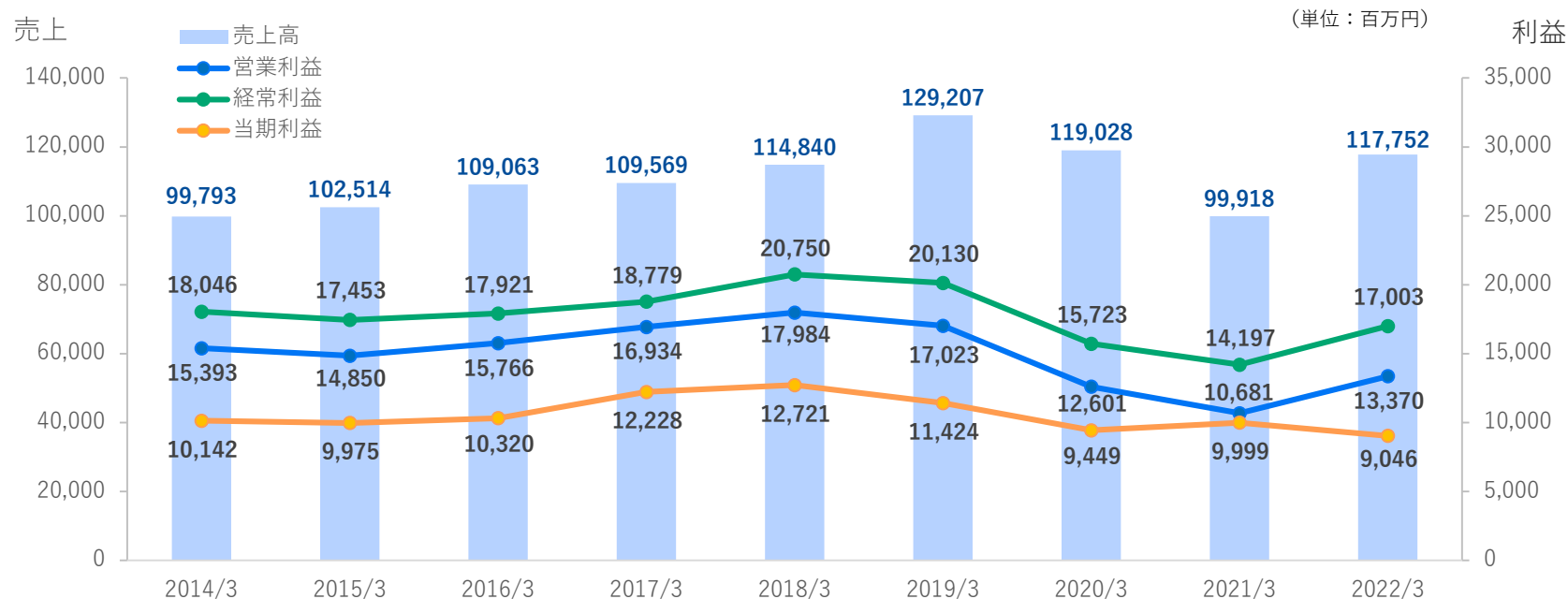
- 業績ハイライト
- 主要関係会社一覧

第3次グループ中期経営計画の振り返り と当社グループの強み

主要財務目標達成状況 (数値目標)

第3次グループ中期経営計画の最終年度である2022年3月期の業績は、前年度に比べて回復傾向にあるものの、新型コロナウイルスの影響、半導体不足による自動車生産台数の減少、原材料価格の高騰、さらにはロシアによるウクライナ侵攻が悪化要因として加わり、数値目標は未達。

	A	B	C	D	C - D
	2020/3	2021/3	2022/3	2022/3	
	実績	実績	実績	中計目標	差額
売上高	119,028	99,918	117,752	133,500	-15,748
営業利益	12,601	10,681	13,370	19,000	-5,630
経常利益	15,723	14,197	17,003	22,000	-4,997



第3次グループ中期経営計画の振り返り(重点施策)

事業基盤の強化は道半ばであり、持続的成長には、より筋肉質な企業体質への転換と、次世代を担う高機能・高付加価値の製品・サービスの開発、海外事業の拡大、新規分野開拓による収益基盤の拡大が不可欠。

成果

課題

グローバル競争に 打ち勝つ成長戦略

- Vision2030のグループ共有
- コロナ禍での安全対策と利益確保
- 国内外の営業連携強化
- 外国籍人材の継続採用

- 新規市場・新規分野の開拓
- 環境対応製品・サービスの開発
- 既存事業の収益力強化
- 品質管理体制の強化
- ホワイトカラーの生産性向上

グループ経営 の最適化

- 国内外グループ会社に対する支援体制の強化

- 最適なサプライチェーンの構築
- グローバル製造体制の見直し
- グループ内人材交流の活性化
- グループ連携のさらなる強化

ガバナンス改革

- 執行役員制の導入
- グループ・ガバナンス及びコンプライアンスの強化

- サステナビリティ経営の推進体制の構築
- グループレベルでのリスク管理体制の強化
- 資本効率の向上

市場認識と目指す事業の方向性

経済環境

- 中長期的には、カーボンニュートラルに向けて、電気自動車の生産台数の急速な増加、エンジン搭載車の減少、鉄に代わる新素材の増加など、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化。
- また、足元では新型コロナウイルス感染症の影響は縮小し、業績は回復傾向にあるものの、半導体不足による自動車の生産調整、ウクライナ情勢の影響によるサプライチェーンの混乱、原油価格や原料価格の高騰、円安など、経済の先行きは引き続き不透明な状況。

社会課題

- 地球温暖化
- 健康と福祉
- 環境破壊
- 貧困

市場・技術の変化

- 次世代自動車の開発
- 代替技術の開発
- 鉄以外の新素材の開発
- 環境規制の強化

当社グループが目指す事業の方向性

足元では、横展開、掘り起こしによる既存分野の深耕と収益力強化により事業基盤を強化しつつ、10年先を見据えて、新規市場・新規分野の開拓に取り組む

- 電気自動車、電気・電子、ライフサイエンスなどの成長分野向けの製品・サービスの開発
- 自動車鉄鋼産業以外の新規分野の開拓・探索
- グローバル展開の拡大
- 環境負荷低減に貢献する製品・サービスなどSDGsを意識した製品・サービスの開発
- 収益力と企業体質強化のための経営基盤のさらなる強化

日本パーカライジング・グループの強み ①

豊富な製品・サービスをあらゆる産業へ提供

当社グループは、長年にわたり金属の表面改質の分野で技術力を強化してまいりましたが、現在ではあらゆる素材の表面に多様な機能(摺動性、耐熱性、耐摩耗、絶縁・導電性、親水性、撥水性、放熱性、断熱性、異材接合など)を付与する技術を開発し、お客さまに提供しています。

薬品	● 塗装下地 ● 金属防錆 ● 潤滑被膜 ● 圧延油 ● 防錆油 ● 無電解Niめっき液 ● その他機能性被膜薬剤
加工	● 化成処理 ● 塩浴軟窒化 ● ガス浸炭・浸炭窒化 ● ガス軟窒化 ● 無電解Niめっき ● 固体潤滑 ● その他加工処理
装置	● 前処理装置 ● 排水処理装置 ● 塗装装置・ロボット ● 塗装ブース・空調設備 ● 粉体塗装 ● コンベヤシステム ● その他規格品・消耗品



日本パーカライジング・グループの強み ②

1928年に創業し、1965年に台湾に進出、その後も積極的にグローバル展開を進め、現在では東南アジア・中国・欧米など12カ国に拠点を設けており、お客さまのニーズに迅速に対応出来る体制を整えております。

技術力

豊富な製品・サービス

お客さまに密着 した事業体制

Always on your side

グローバル展開

12カ国のネットワーク

**グループ総合力を生かして
社会課題の解決に貢献するソリューションを
グローバルに提供**

第4次グループ中期経営計画

第4次グループ中期経営計画の位置づけ

企業理念

地球上に限りある資源の有効活用を図り、あらゆる素材の表面改質を通じて、資源の新しい価値を創造し、地球環境の保全と豊かな社会作りに貢献します。

Vision 2030

表面改質技術を通じて、新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献

サステナビリティ経営の推進

成長戦略

+

社会課題
解決

+

企業変革

創業 ~ 2022/3

金属表面処理
を中心とした第1の成長

2022/4 ~ 2025/3

Vision2030実現
に向けた基盤作り

~ 2031/3

社会課題の解決を通じて
お客さま・社会から信頼され、
成長し続ける会社

第4次グループ中期経営計画の全体像

第4次グループ中期経営計画では、当社グループが優先的に取り組むべき重要課題を特定し、成長戦略、社会課題解決、企業変革の3つを柱として、Vision2030の実現に向けた基盤作りに取り組めます。

企業理念

Vision2030

日本パーカライジング・グループの重要課題（マテリアリティ）

第4次グループ中期経営計画

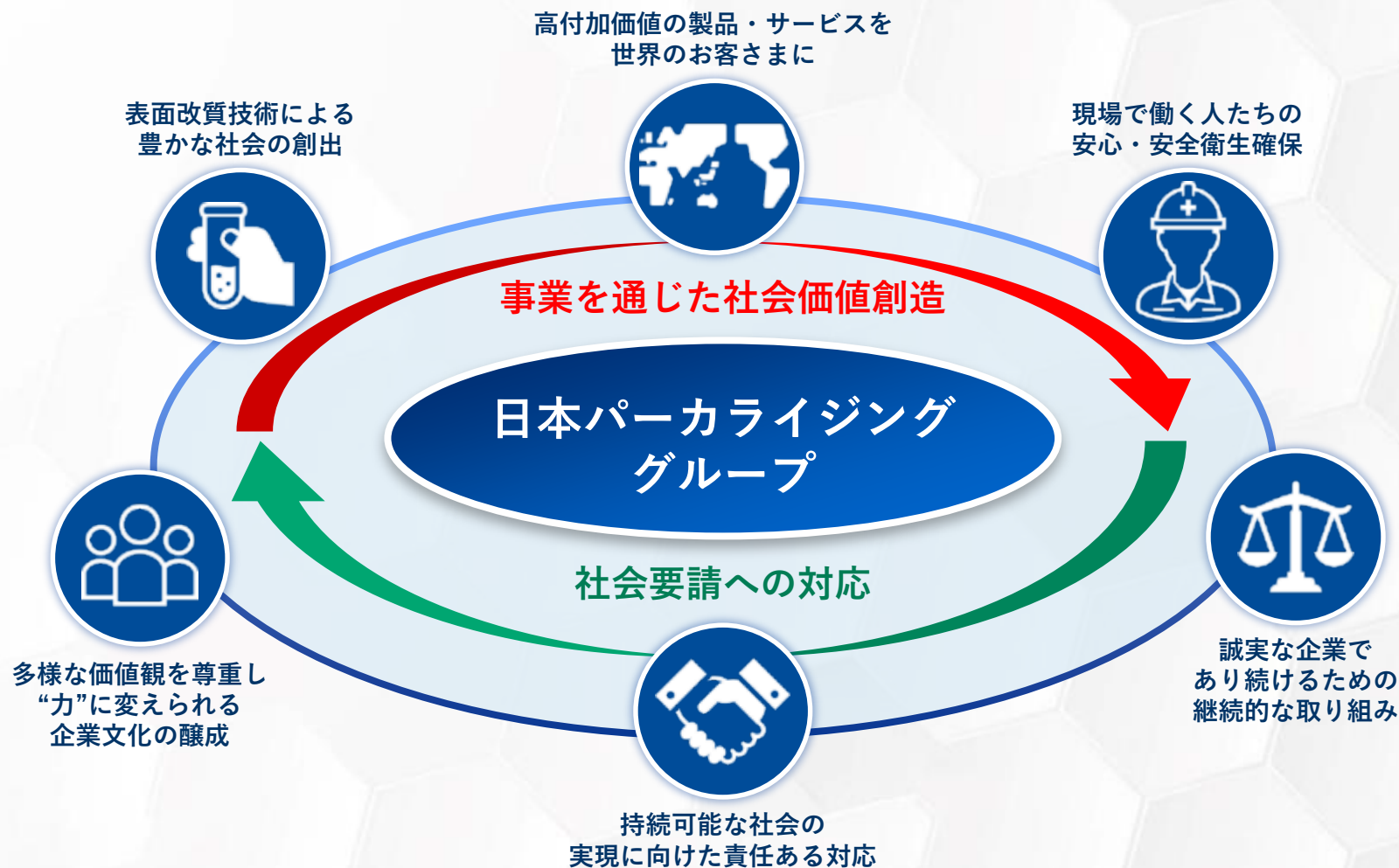
社会課題解決への貢献

Vision2030実現に向けた
成長戦略の推進

企業変革

当社グループ重要課題(マテリアリティ)の特定

持続可能な社会の実現に向け、当社グループが優先的に取り組むべき6つの重要課題を特定。グループ全体でサステナビリティ経営を推進し、事業活動を通じて社会課題の解決に積極的に取り組めます。



表面改質のスペシャリストとして、社会課題の解決に積極的に取り組むことで、新たな価値を創造し、社会と共に発展・成長し続ける会社を目指します。

重要課題 (マテリアリティ)

1 表面改質技術による豊かな社会の創出



●環境に配慮した新製品・新技術の開発

自動車のEV化・軽量化ニーズに対応する多様な薬剤、有害化学物質を含まない薬剤、環境負荷を低減する装置、低温処理技術など、新製品・新技術の開発を通じて、お客さまの製造工程等における環境負荷低減を図ることで、地球環境の保全に貢献します。

●表面改質技術を生かした新規分野の開拓

表面改質のスペシャリストとしての技術力を生かし、非金属、多機能、新規市場へ事業領域を拡大することで新規分野を開拓し、社会課題の解決に幅広く貢献します。

●オープンイノベーションの積極的な推進

国内外の様々な企業や研究機関との共同研究など、産学官との連携を積極的に推進し、新たな視点から技術開発に取り組むことで、新たな価値の創造に取り組みます。

2 高付加価値の製品・サービスを世界のお客さまに



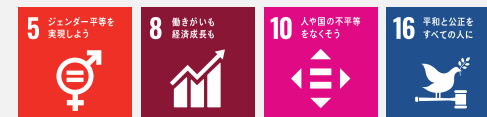
研究開発や生産及び品質管理体制を強化し、社会や顧客のニーズに対応した高付加価値な製品・サービスを迅速に提供できる組織体制をグローバルに構築することで、世界中のお客さまに社会課題の解決に貢献するソリューションを提供します。

3 現場で働く人たちの安心・安全衛生確保



製造・加工工程における危険有害業務の削減による安全性向上や安全教育・健康増進等の取り組みを続けることにより、当社グループで働く全ての人に対して安全・安心な労働環境を実現します。

4 多様な価値観を尊重し“力”に変えられる企業文化の醸成



●多様な人材の活躍推進

多様な働き方の推進、グローバル人材の採用・育成、女性・障がい者・外国人・中途・シニア等の採用促進などを通じて、当社グループで働く全ての人が活躍し、働きがいを感じる職場を実現します。

●人権の尊重

人権尊重、差別やハラスメント等を禁止するルールの整備、良好な労使関係の構築など、国・地域によらずに、全ての人の権利を等しく尊重する企業文化を醸成します。

5 持続可能な社会の実現に向けた責任ある対応



●持続可能なサプライチェーンの構築

お客さまやサプライヤーの皆さまと緊密な協力関係を構築し、循環型社会の実現に向けた資源管理、生産及び供給体制等の構築に取り組み、持続可能なサプライチェーンを構築します。

●環境負荷低減への貢献

CO2を始めとする温室効果ガスや有害化学物質の排出削減、排水及び廃液の削減、再生可能エネルギーの利用推進など、環境負荷低減への取り組みを続けることで、地球環境の保全に貢献します。

6 誠実な企業であり続けるための継続的な取り組み



●誠実で正直な企業運営

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、非財務情報を含む情報開示の充実や株主を含む様々なステークホルダーとのコミュニケーションを図り、透明性のある経営を行います。

●リスクマネジメントの向上

事業上で想定される様々なリスクについて適切にリスク評価を行い、そのリスク度合いに応じた対応策を講じる体制を構築することで、事業環境の変化や事故・災害などのリスク低減を図ります。

6つの重要課題と中期経営計画における主な取り組み

持続可能な社会の実現に向けて、重要課題への取り組みをグループ全体で推進

重要課題（マテリアリティ）

第4次グループ中期経営計画における主な取り組み

1 表面改質技術による豊かな社会の創出

- 環境負荷低減ニーズに対応した製品の開発・販売
- 電気自動車向けの製品の開発・販売
- 自動車・鉄鋼以外の新規市場への表面改質技術の適用拡大

2 高付加価値の製品・サービスを世界のお客さまに

- 金属防錆処理以外の分野における研究開発の推進
- SDGsを意識した製品・サービスの開発
- 高品質な製品・サービスを提供するための品質管理及び品質保証体制の強化

3 現場で働く人たちの安心・安全衛生確保

- 安全衛生環境活動のグループレベルでの推進
- 労働災害及び交通事故ゼロへの取り組み
- 危険有害業務の削減や作業環境改善への継続的な取り組み

4 多様な価値観を尊重し“力”に変えられる企業文化の醸成

- 女性・障がい者・外国人・中途・シニア等の採用促進
- 女性管理職比率の向上
- 多様な人材が活躍できる働き方、職場環境の整備

5 持続可能な社会の実現に向けた責任ある対応

- 製品含有化学物質管理の徹底
- グリーン調達方針のサプライヤー100%順守、エネルギー原単位削減への継続的な取り組み
- 複社購買や事業継続計画(BCP)による安定調達及び安定供給への取り組み推進

6 誠実な企業であり続けるための継続的な取り組み

- グループガバナンス強化に向けた各社重要規程等の標準化
- コンプライアンスに係る教育と啓発活動へのグループ全体での継続的な取り組み
- 全てのステークホルダーとの緊密な関係の構築と協働

持続可能な開発目標(SDGs : Sustainable Development Goals)達成に貢献



第4次グループ中期経営計画の基本方針

Vision2030の実現に向け、全事業セグメントにおいて、既存事業の深耕、新規分野の開拓、グローバル事業の拡大に加えて、環境問題などの社会課題解決に積極的に取り組むことで、企業価値の向上に取り組みます。

Vision2030実現に向けた 成長戦略の推進

- 既存分野の深耕
- 新規分野の開拓
- グローバル事業の拡大
- 研究開発の強化
- 品質管理と品質保証の強化
- 既存事業の収益力強化
- M&Aの検討

社会課題解決への貢献

- 環境対応製品の拡販
- SDGsをテーマにした研究開発
- 化学物質の適切な管理
- 環境負荷低減への取り組み
- 人権尊重

企業変革

- グループ・ガバナンスの強化
- ダイバーシティ推進
- グローバル人材育成
- DX推進

表面処理薬剤販売の分野で、世界市場売上シェアNo.1 になる！

エネルギー効率の向上など脱炭素社会に貢献する薬剤やクロムフリーなどの環境負荷を低減する薬剤の開発・販売によって環境課題の解決に貢献し、電気・電子、非鉄、ライフサイエンスなど様々な分野で新規開拓をグローバルに推進！

- 自動車の電動化を見据えた製品開発
(耐久性、摺動性、絶縁などによるエネルギー効率向上、高機能化など)
- 自動車鉄鋼産業以外の新規市場の開拓
(電気・電子、非鉄、ライフサイエンス、その他)
- 環境対応製品の拡販
(クロムフリー、リンフリー、スラッジ削減、廃液処理負担軽減など)
- 金属防錆処理以外の多様な機能性被膜の開発・販売
- 海外における事業拡大

～ あらゆる産業分野における表面処理剤と最新のノウハウ、技術サポートを提供 ～



電子



航空／宇宙



非鉄



輸送／機器



建材



金属／加工／防錆



鉄鋼



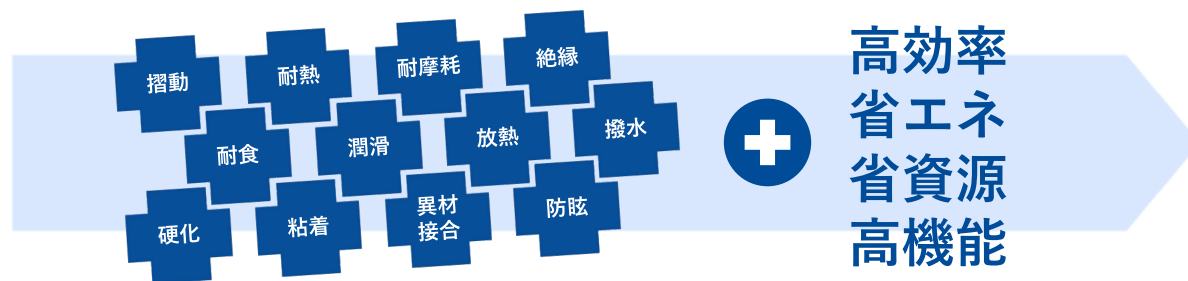
医療

全世界で認知され、顧客より最も信頼されるパートナーになる！

需要が今後増加していく自動車電動化(EV、HV、PHV)の主力部品をターゲットに、メガサプライヤーとの連携を強化、国内外の営業連携を更に強化することで既存分野の掘り起こしと新規分野の開拓をグローバルに推進し、事業基盤を強化！

- 次代自動車ニーズへの対応
- 自動車電動化(EV・HV・PHV)の主力部品の受注(摺動性、絶縁、耐摩耗など)
- その他次世代自動車技術への用途開発(防眩、放熱、異材接合など)
- 自動車以外の新規分野開拓(建機、建設、ロボット、宇宙、他)
- 海外主力拠点(タイ、北米)の営業強化、非日系市場の開拓
- 環境負荷低減に貢献するサービスの拡充(低温処理など)
- 横展開、内製取り込みによる既存分野の掘り起こし

～ 環境負荷低減に貢献する多様な機能を付与 ～



総合エンジニアリングメーカーとして、薬剤事業との連携により、自動車産業から一般産業まで、幅広い顧客の問題解決に貢献する！

成長市場である海外での事業拡大を推進、IoT設備管理システムや環境対応製品の開発などにより他社との差別化を図ることで収益力を高め、持続的成長の基盤作りに取り組む！

- 装置と薬剤の一体販売による付加価値向上（ジルコン化成、自動化システム）
- IoT設備管理システムや環境対応製品の開発と販売（PARKER LEAPS、DRYCUBEなど）
- 付加価値の高い商製品等の拡販（アイオニクス製品など）
- 設備メンテナンス事業の強化
- 海外成長市場における事業拡大

～ 設備規模や産業分野を問わず、塗装・表面処理に必要なプラント一式をフルラインでご提供 ～



前処理



電着塗装



塗装機器
ロボット



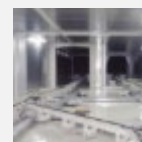
粉体塗装機



塗装ブース
空調設備



乾燥炉



コンベヤシステム



排水処理設備



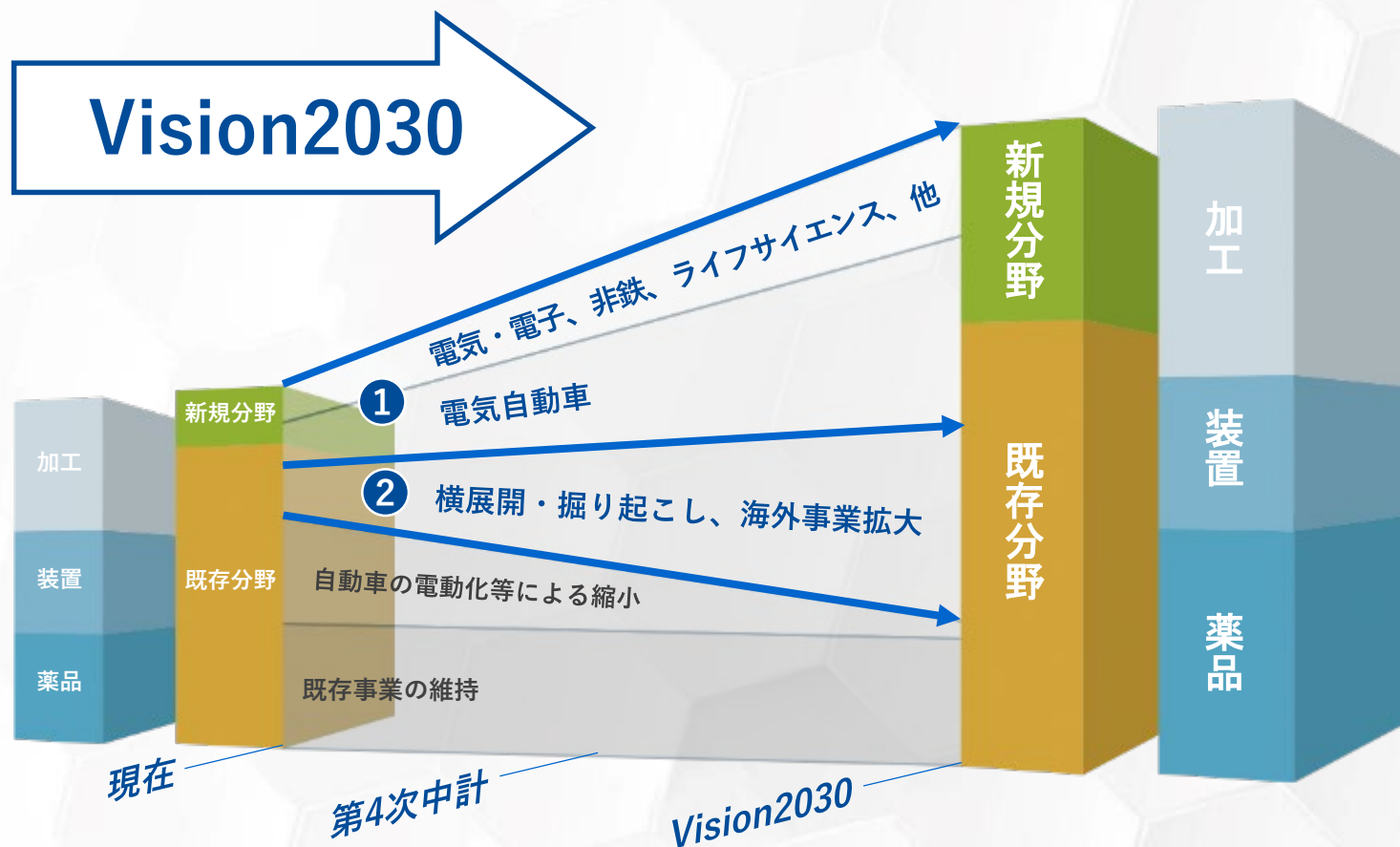
品質生産管理



規格品ブース
フィルター・消耗品

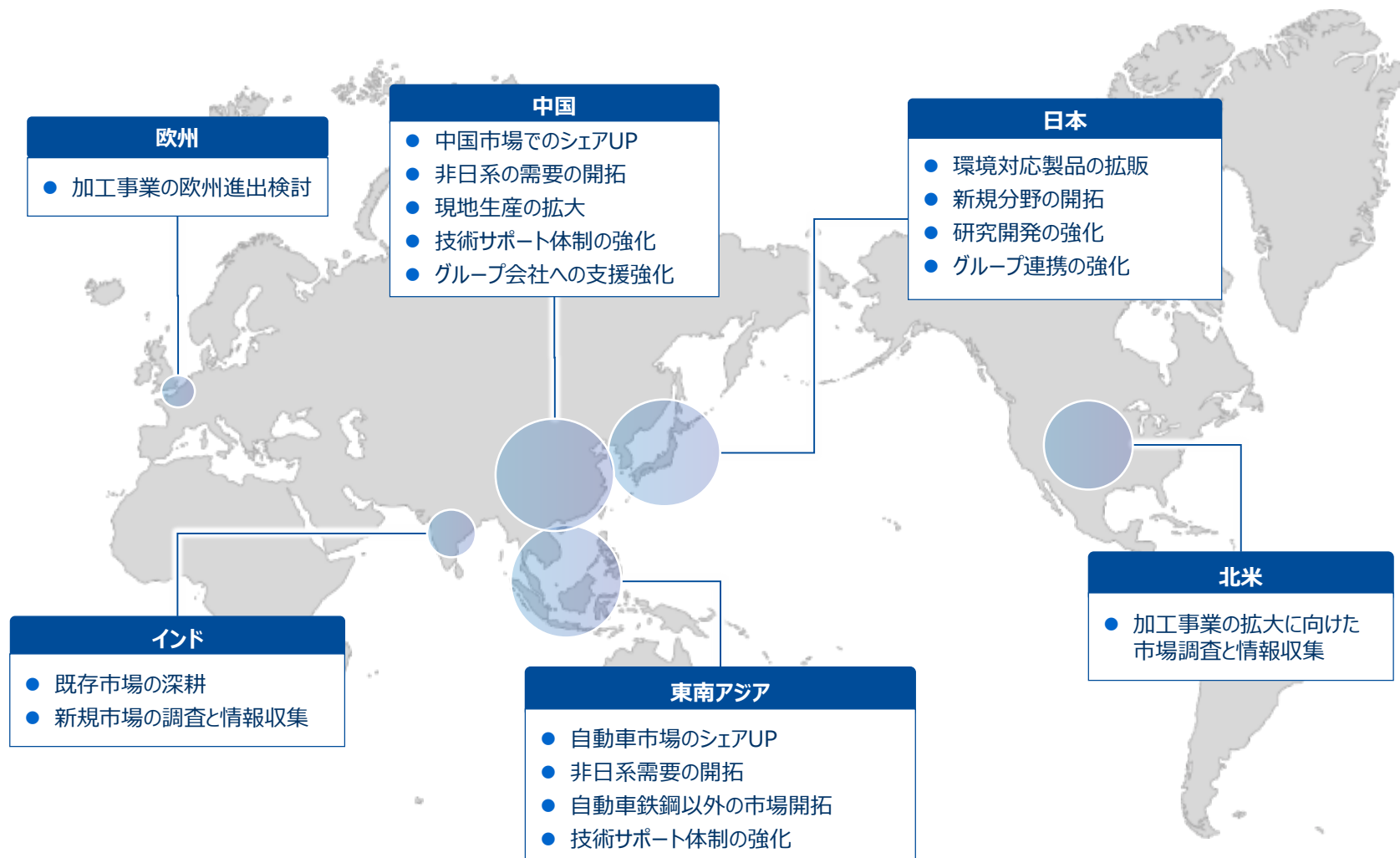
既存分野の深耕と新規分野の開拓による成長イメージ

- ① 電気自動車、電気・電子、非鉄、ライフサイエンスなどの成長分野向けの製品・サービスの開発
- ② 横展開・掘り起こし、海外事業拡大



グローバル事業の拡大

主要マーケットである日本、中国、タイ、北米での事業拡大
海外市場拡大に向けた市場探索と情報収集の強化



新規分野の開拓に向けた研究開発を推進

- 環境対応型製品の開発(クロムフリー、リンフリー、スラッジ削減、廃液処理負担軽減など)
- EV部品向けの製品・サービスの開発(摺動性、耐久性、耐摩耗、絶縁などによるエネルギー効率向上など)
- 金属防錆処理以外の様々な技術開発

機能(例)	用途(例)
放熱⇔遮熱	エンジン部品、ヒートシンク、ルーフ材等
絶縁⇔導電	モーター部品、電磁波シールド材、電装材等
接着⇔非粘着	ゴム・樹脂-金属複合材、シール材、ラミネート材
親水⇔撥水、撥油	熱交換器、防汚壁等
低摩擦⇔高摩擦	パワートレイン、クラッチ、スライドレール等
硬化⇔軟化	摺動部品、塑性加工部品等
錆安定化⇔補修防錆	耐候性鋼材、建材関係の補修材
その他	耐指紋鋼板

あらゆる素材の表面に
多様な機能を付与



※総合技術研究所の拡張計画（2024年 開所予定）

知

Why & What

- ・技術立社の核となる
- なぜ希求し、独自の表面処理メカニズムを構築→研究基盤の強化

創

How to develop

- ・新たなコア技術の創成 合成設備などの拡充
- ・新規市場への挑戦 新規事業参画に必要な設備、装置の導入

繋

Who to who

- ・異なる技術分野の融合
- ・グループ会社や顧客との連携、連動による共創の場
(共同開発スペースや生産性評価設備の導入)

製

Real to do

- ・ラボ開発から生産バッチアップにおける不具合の危険予知
- ・オンライン化を想定した生産性評価設備による事前確認

品質管理と品質保証の強化

お客さまから信頼と満足をいただける製品・サービスを提供するために、グループ全体の品質管理と品質保証を強化

薬品事業

- リスクマネジメントシステム(RMS)による品質保証活動の推進
- グローバルレベルでの製造工場の工程標準化の推進
- 品質強化月間などを通じた品質教育等の継続的な実施
- 内部監査と内部監査員教育の強化
- QRコードなど品質管理におけるITの活用検討

加工事業

- グローバル品質管理体制の強化
- 品質管理マニュアル類のグローバルレベルでの標準化
- 変化点管理・スキル管理等の徹底によるさらなる品質改善及び品質リスクの排除
- 工場設備の自動化と最新検査機器導入の推進
- ITの導入推進による設備維持管理体制の強化

成熟した国内市場における既存事業の収益力強化

薬品事業

- グローバル生産体制の見直し
- 最適なグローバルサプライチェーンの検討

加工事業

- 国内外のグループ会社との連携強化
- 工場の自動化、IoT活用による生産性向上

装置事業

- 業務標準化による原価低減の推進
- R&Dセンターと実験センターの統合による研究開発効率向上

ホワイトカラーの生産性向上

- グループ横断的な取り組みで業務を効率化し、高付加価値業務へシフト
- 働きかた改革、DX推進による生産性向上

企業変革への取り組み

グループ全体で企業変革を推進し、グループ・ガバナンスの強化、多様な人材とグローバル人材の育成、生産性の向上などにより、持続的に成長し続けるための経営基盤を強化

グループ・ガバナンスの強化

- グループレベルでのコンプライアンスとリスクマネジメントの強化
- 収益拡大に向けたさらなるグループ連携の強化と情報共有の促進

グローバル人材育成

- 国内と海外の人材の相互交流
- 海外研修の拡充

ダイバーシティ推進

- 多国籍、女性、中途等の採用促進
- 女性管理職比率の向上

DX推進

- IT基盤の整備、デジタル化の推進、グループ・システム統一
- 営業活動、生産、品質管理等におけるIoTの活用

表面改質のスペシャリストとして、社会からの期待に応えるよう様々な取り組みを実施

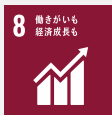
Environment

- カーボンニュートラルへの取り組み（電力使用量の削減、再生可能エネルギーの利用、太陽光発電設備の設置など）
- 環境対応製品の開発（クロムフリー、リンフリー、スラッジ低減、廃液処理負担低減など）
- 有害物質の排出削減（排水処理・廃棄物処理への配慮）
- 化学物質の適切な管理
- グリーン調達
- 水の使用量削減



Social

- コンフリクト・ミネラル（紛争鉱物）
- ダイバーシティ推進（女性、障がい者、外国人、中途、シニア等の採用促進）
- 産学連携による新技術の開発
- 働きやすい職場環境の整備
- 安全衛生環境活動の推進
- 地域社会への貢献



Governance

- ROE10%以上を中長期的な目標として、資本効率を意識した経営を実施
- グループレベルでのサステナビリティ推進体制の構築
- コンプライアンスの強化



カーボンニュートラルへの取り組み

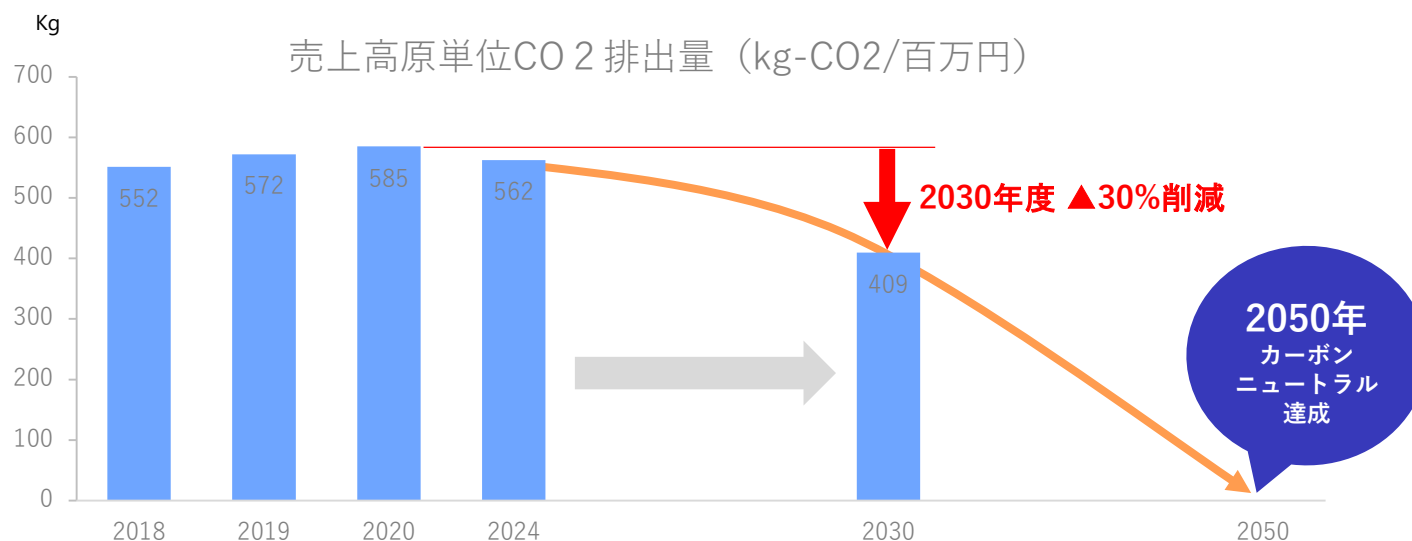
当社グループは、『地球環境の保全と豊かな社会作りに貢献』することを企業理念に掲げ、創業来、持続可能な社会の実現に取り組んでおります。今般、第4次中期経営計画策定に当たり、従前の取り組みをさらに加速すべく以下の削減目標を設定しました。本中期経営計画では、製造・加工段階でのCO₂削減はもとより、LCAベースでCO₂削減に寄与する製品(PALLUCID、PULS)の拡販、再生エネルギーの利用拡大などに注力してまいります。

NP単体目標

2050年 **カーボンニュートラル達成**を目指す

2030年度 CO₂排出量（Scope1+2）**30%削減**（2020年度比）

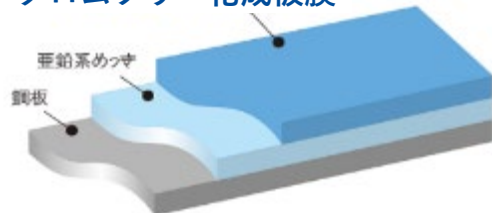
※なお、中計最終年度（2025年3月期）までに最低でも同5%の削減（2020年度比）を達成



環境対応製品の開発・販売

地球レベルでの環境保全への積極的な取り組みを経営の最重要課題として捉え、環境対応型製品を積極的に開発

クロムフリー化成被膜



●溶融亜鉛めっき鋼板用機能処理「パルコート・シリーズ」

建築鋼板や車の下回りなどの高耐食性を必要とする溶融亜鉛めっき鋼板に使用

●電気亜鉛めっき鋼板用機能処理「パルコート・シリーズ」

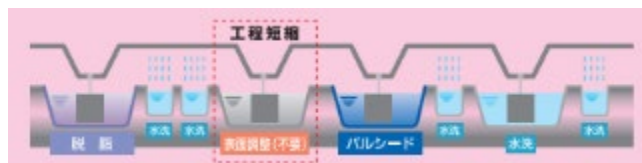
電化製品などに用いられる亜鉛めっき鋼板に使用



※リン酸鉄・リン酸亜鉛100%に代わる場合の比較

●ニッケル ●マンガン	含有量 0%	●リン酸	含有量 0%	●銅酸塩	含有量 約60%減	●フッ素	含有量 約50%減
----------------	-----------	------	-----------	------	--------------	------	--------------

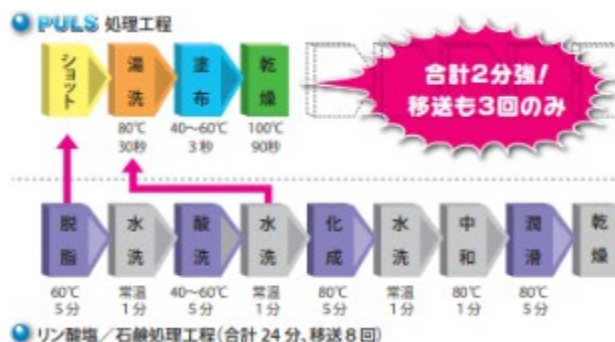
- リン・ニッケル・マンガンを含まず、りん酸亜鉛処理に比べて重金属を低減
- スラッジ発生量を1/10いかに低減
- 表面調整工程が不要なため、ライン短縮により排水処理コストの削減だけでなく、LCAベースでのCO2削減にも貢献



PULS

廃棄物ゼロ!! 環境対応塗布型水系一工程

Parker
Ultimate
Lubrication
System



- 廃棄物ゼロ!!
環境対応塗布型水系一工程
- 低温処理の実現により、お客様の製造工程におけるCO2排出量削減に貢献
- LCAベースでCO2を削減

設備投資計画

通常投資(維持・更新)に加えて、総合技術研究所の拡張(約65億円)や、老朽化工場のリニューアル工事、グループITシステムの更新・統一などで、約80~150億円／年の設備投資を継続見込み(M&Aは別枠)



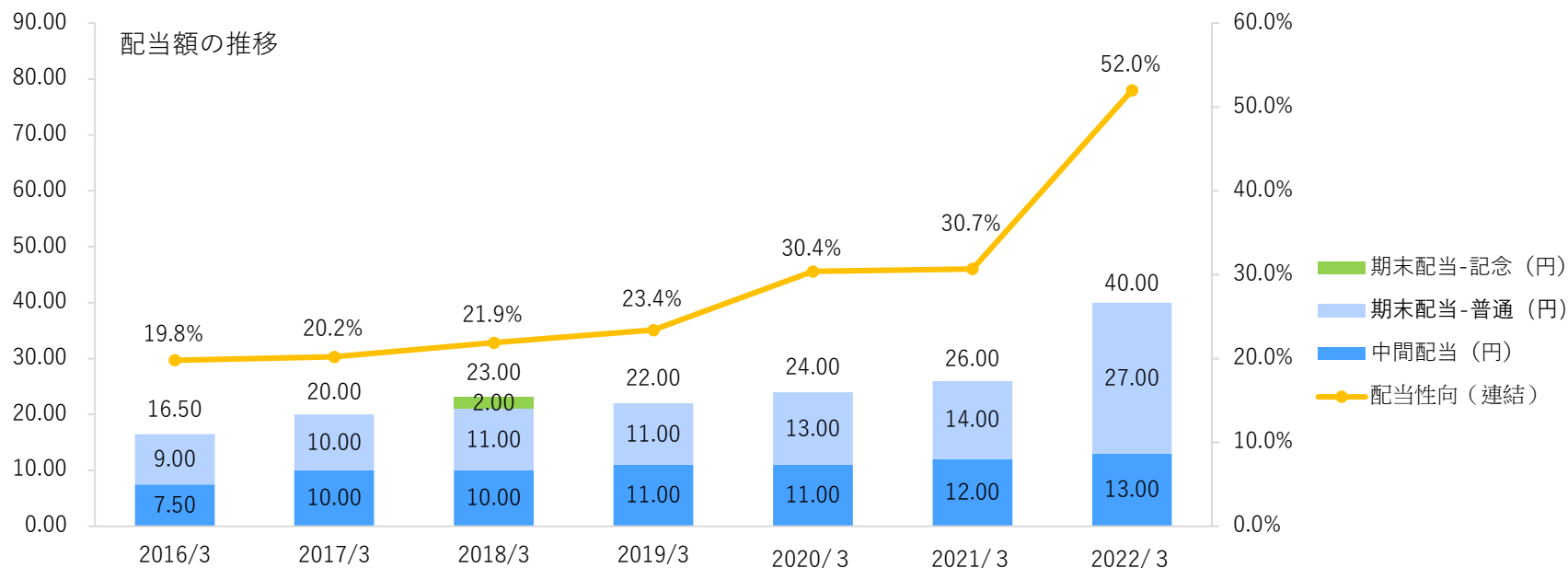
資本政策と株主還元の基本方針

資本政策

- 資本効率や財務健全性を考慮しながら、バランスの取れた資本構成を維持
- ROE10%以上を中長期的な目標とし、資本効率を意識した経営を実施
- 自己資本を原資に設備投資やM&Aを検討

株主還元

- 安定的かつ継続的に配当を行うとともに、内部留保の有効活用によって株主価値を向上
- 連結配当性向30%程度を目安（なお、成長のための投資資金及び財務基盤の安全性がある程度確保されたと判断し、当面の間は配当方針を上回る配当を実施）
- 自己株式取得を積極的に実施



連結数値目標

(単位：百万円)

			2022/3	2025/3	増減
			実績	計画	
売	上	高	117,752	130,000	+12,248
	薬	品	46,631	56,000	+9,369
	加	工	44,820	52,000	+7,180
	装	置	23,914	20,000	-3,914
	そ	の	2,387	2,000	-387
営	業	利	13,370	16,900	+3,530
経	常	利	17,003	19,500	+2,497
売上高営業利益率			11.4%	13%以上	-
売上高経常利益率			14.4%	15%以上	-
ROE			5.8%	8～10%以上	-

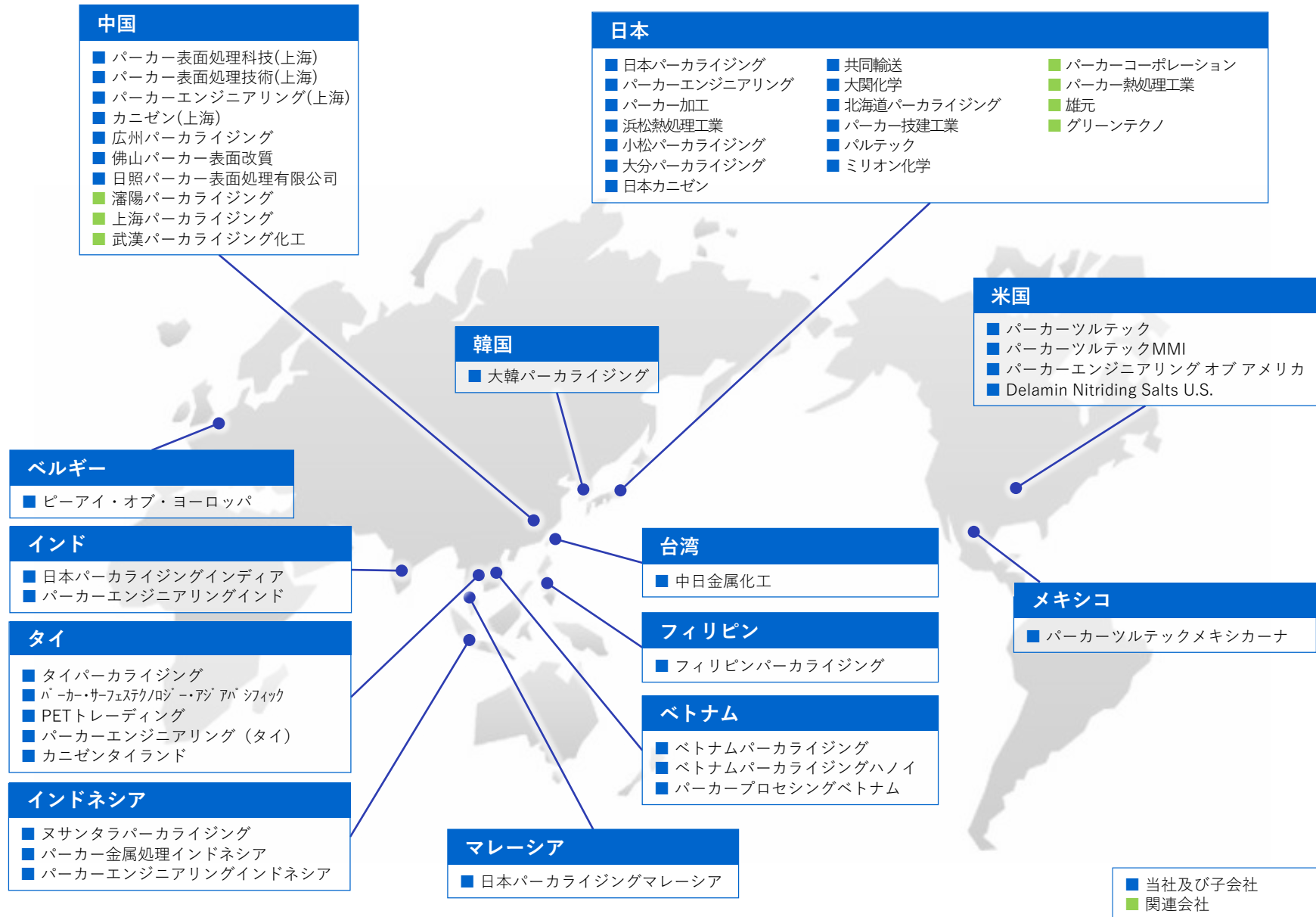
参考資料

業績ハイライト

(単位：百万円)

	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3
売上高	99,793	102,514	109,063	109,569	114,840	129,207	119,028	99,918	117,752
営業利益	15,393	14,850	15,766	16,934	17,984	17,023	12,601	10,681	13,370
経常利益	18,046	17,453	17,921	18,779	20,750	20,130	15,723	14,197	17,003
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,142	9,975	10,320	12,228	12,721	11,424	9,449	9,999	9,046
売上高営業利益率	15.4%	14.5%	14.5%	15.5%	15.7%	13.2%	10.6%	10.7%	11.4%
売上高経常利益率	18.1%	17.0%	16.4%	17.1%	18.1%	15.6%	13.2%	14.2%	14.4%
総資産経常利益率	11.5%	9.9%	9.5%	9.7%	10.0%	9.2%	7.2%	6.5%	7.6%
自己資本利益率 (ROE)	11.1%	9.4%	8.9%	10.2%	9.7%	8.2%	6.7%	6.8%	5.8%
自己資本比率	59.5%	61.1%	61.5%	62.5%	62.9%	64.2%	66.1%	68.8%	70.0%

主要関係会社一覧 (2022年3月31日現在)



Vision P 2030

あらゆる表面をカガクで変える